

## 「盛岡・秋田支社における乗務員基地再編の概要について」

### 盛地申7号 に関する説明申し入れ交渉 **パート①**

第1項 本施策において、青森運輸区が廃止となる根拠を明らかにすること。また、この間青森運輸区が担ってきた役割を明らかにすること。

**【会社】** 青森運輸区については、J R 北海道との直通運転や、盛岡・秋田方面への長距離輸送等を担う乗務員区所として役割を果たしてきた。しかしながら、新幹線延伸開業に伴い輸送体系が大きく変化したことから、輸送の安定性を維持しつつ効率的な業務体制の確立を目的として、乗務員基地のあり方を見直すものである。

#### 主な説明された内容

- ・奥羽線全列車を弘前運輸区が持つ事で、乗務員総配が簡単になる。効率的な運用体制の行路を作成できるのも理由である。
- ・津軽線でワンマン運転を導入するが、ダイヤ改正時、線区の効率的な運行を実施していく中で、基地再編と同時期の実施になっている。
- ・ワンマン導入の理由は、お客さま流動の変化や、秋田支社所属の701系車両数運の減少（3両→2両）で条件が整った事が主な理由。
- ・ワンマンは蟹田～三厩間はできないので、それ以外の区間で乗降数等を分析し列車を決定していく予定。
- ・100km圏内に1運輸区の考えは、国鉄時代の輸送体系での基地配置だったので、安定的な業務体制のためにも、スリムにしていく必要性がある。

第2項 全区所での面談の実施と、弘前運輸区へ異動となる社員の選定条件を明らかにすること。

**【会社】** 面談については、盛岡支社に所属している車掌職、運転士職と青森運輸区に所属している社員を対象としている。なお、社員の異動については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

#### 主な説明された内容

- ・盛岡新幹線運輸区の社員は、総合的に判断し対象外とした。（統括本部所属が理由ではない）
- ・休職者などを除いては、対象者の面談は終了している。
- ・1人1人の現状を把握するために面談では、行けない理由なども聞いている。決して異動させる為に質問している訳ではないし、支社をまたがる異動になるので丁寧にこなっていく。
- ・異動の選定は、弘前運輸区の特性（要員数、車種など）を含め、総合的に判断していく事になる。
- ・今後は通常の面談などで、希望や家庭環境の変化などを把握してくが、必要に応じて面談などを適宜おこなっていく